

報道各位

## イベント開催のお知らせ

電子書籍 KCIC アーティストシリーズ

## あいだだいや「フリツモ」出版記念トークイベント

ゲスト：あいだだいや(アーティスト)、豊増 真也(大隅河川国道事務所 桜島砂防出張所長)

2016年2月13日(土) 14:00~15:30 開催

毎年1回、国内外で活躍するアーティストと電子書籍を制作するKCIC BOOKSアーティストシリーズ。電子書籍「フリツモ」の発刊を記念したトークイベントをアーティストあいだだいやさんと国土交通省九州整備局大隅河川国道事務所桜島砂防出張所長の豊増真也さんを迎えて行います。

今回の電子書籍は、メディアや価値、コミュニケーションをテーマに学生時代から創作活動を続けるあいだだいやさんと共に、灰の降り積もる鹿児島と、雪の降り積もる青森、各々のまちで普通の暮らしをする普通の人々を記録します。2ちゃんねるの「○○だけどなんでも聞いて」のスタイルで、ネットを通して話した互いの土地の日々の生活についてFacebook 非公開グループを通して対話しました。鹿児島の人から「雪かきはどのくらいの頻度ですか?」や青森の人から「桜島が噴火するときはドカンというんですか?」など、知っているようで知らない普段の生活の話や、現地の人には言うほどでもないけれども外から見れば興味深い日常を、その地の住民のダイレクトな言葉を通して浮き彫りにします。

トークでは今回の企画趣旨の説明、桜島砂防出張所での取り組み、また青森の雪の降り積もる生活と鹿児島の灰の降り積もる生活などについて皆様とお話しします。2つの地域を比べることで新たな視点を生み出す時間になりたいと思います。

皆さまのご参加ならびに貴メディアでのご紹介を是非ご検討くださいますよう、どうぞよろしくお願い致します。

※ゲストは急遽変更になる可能性があります。

## あいだだいや



1976年東京生まれ。学生時代より「価値」「メディア/コミュニケーション」という視点で作品発表を行う。山口情報芸術センター就職後は教育普及担当としてコミュニティと文化をつなぐ場で活動し、オリジナルワークショップの開発なども行なう。一連のワークショップは、第6回キッズデザイン大賞を受賞。担当企画展示「コロガルパビリオン」が、第17回文化庁メディア芸術祭審査委員会推薦作品受賞。担当した「コロガル公園」シリーズは2014年度グッドデザイン賞を受賞。現在、伊勢丹のキッズプログラム「ココイク」を監修している。

## 【参加展覧会】

2000年「信用ゲーム」展 NTT ICC (東京) / 2006年「コネクティング・ワールド」展 NTT ICC (東京) / 2007年「金庫室のゲルトシャイサー」展 広島アートプロジェクト / 2008年「taxi/draw」展 せんだいメディアテーク / 2014年「さっぽろアートステージ」展 札幌他参加展覧会多数

## 開催概要

- 1 日時：2016年2月13日(土) 14:00~15:30
- 2 会場：かごしま文化情報センター (KCIC)  
鹿児島市易居町 1-2 鹿児島市役所みなと大通り別館 1F 市民アートギャラリー(KCIC 横)
- 3 参加費：無料
- 4 対象：どなたでも参加・可
- 5 定員：50人 ※要申込み(定員になり次第終了)
- 6 問合せ：かごしま文化情報センター (KCIC) 担当：四元、市村  
TEL：099-248-8121 MAIL：[information@kctic.jp](mailto:information@kctic.jp)

※内容に関する広報のお問合せ、またご取材の際は、電話またはメールでご連絡ください。  
(開所時間：10:00~18:00※日・水曜休所)

- 7 主催：文化薫る地域の魅力づくり実行委員会、鹿児島市
- 8 企画：かごしま文化情報センター(KCIC) アートディビジョン
- 9 助成：平成27年度文化庁文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業



かごしま文化情報センター  
Kagoshima Cultural Information Center

## フリツモとは??

2ちゃんねるなどでよくある「○○だけだなんでもきて?」のスタイルで地域のシンボル桜島の火山灰が降り積もる鹿児島の人々と、雪が降り積もる青森の人々のあいだで、つもるはなしをインターネット上で会話して記録にしたもの。

### 【登場人物】

- あいだだいや・・・アーティスト、キュレーター、ミュージアムエディター。  
今回のプロジェクトの仕掛け人
- 鹿児島人(23人)・・・火山灰の民。みかんとさつま芋と芋焼酎をこよなく愛する。  
きっぱりつってげな性格。持ち物：ほうきと花。
- 青森人(11人)・・・雪の民。りんご大好き。寡黙だがハートが熱い。  
年間約50日間の雪かきを行う強靱な人々。持ち物：スコップ



## フリツモの様子

### 【質問】 鹿児島 > 青森

雪かきは、年に何回必要ですか?

青森 年間で100日くらいは雪がふつるようなので、少なくとも半分の50日は雪かきしてるのかな...? 1日2回とか3回とかもあるし... いよいよそんな時期が到来間近です。

鹿児島 大変ですね。ご高齢の方々はどうされているんですか?

青森 高齢者の方もがんばって片づけしてますよ。危険な屋根の雪下ろしはボランティアが活躍する場面もあります。

鹿児島 屋根は怖いですね。ボランティアさんの存在は心強いですね。

青森 冬季間は、ほぼ毎日。朝昼晩だったりする日もあります。私は頑張れませんが、多くの家庭では主に「おかあさん」が雪かきするので、専用の「ママさんダンブ」というモノがあります。

鹿児島 青森のおかあさんはパワフルですね。南国生まれでよかった(^-^;「ママさんダンブ」って、ネーミングが素晴らしいです♪

青森 雪かき検定ってのもありますよ

青森 でも青森の人の「雪かきしなきゃ!」基準はすごく厳格だと思います。私なんかからみたら(在住歴14年)、「全然車で乗り越えられるじゃないか」とか、「このくらい放置していても問題ないんじゃないか」と思える量でも、丁寧にきっちり雪かきしてますよね。玄関前のお掃除の一環?

青森 だから雪かきちゃんとしてないと近所で肩身が狭くなる(爆)

(・?・) みたいな顔されちゃうの...とほほ。

青森 近所のお年寄りの生存確認という側面も

青森 震災の時電気がつかなくて暇でやることがないって、おじさんたちが猛烈に雪かきしていましたね。

鹿児島 猛烈な雪かきって(^-^; 鹿児島では、お墓の花が枯れていると肩身が狭い思いをします。生存確認という側面も似ていますね。

青森 生きている日常(雪かき)もそうですが... 彼岸・お盆時期の墓に向かう交通量もおかしいです

あいだ 『「全然車で乗り越えられるじゃないか」とか、「このくらい放置していても問題ないんじゃないか」と思える量でも、丁寧にきっちり雪かきしてますよね。』というのはとても面白い。「雪を掻く」、という行為は、実用的な行為以上の意味を、青森の人が持っている印象を受けました。「きっちりしてるよ」という自分自身(または周囲)への意思表示というか。特定の県というわけではないですが、「どこのお家もお庭が丁寧に手入れされているな」と思う地域があるのはたしかで、そういう生気の通った地域は、思わず足が赴いてしまいます。

### ▲▼ KCIC Arts Crossing 05 より抜粋



平野 トシミ  
2015年11月9日

【質問】 鹿児島 > 青森

私、鹿児島名物の白熊（果物いっぱいのかき氷）が好物で、雪で作った白熊を食べてみたい！と子どもの頃から思っているのですが、雪でかき氷を作ったりしますか？

いいね! コメントする

あなた、凡 中国 淳彦さん、他5人 32人が既読

他1件のコメントを表示

和久 尚史 意外と雪も氷も不純物が多いんですね 山の上ならどうなんだろう？  
いいね! · 返信 · 1 · 2015年11月9日 12:37

平野 トシミ 写真や映像で見ると真っ白ですが、不純物も多いんですね。  
いいね! · 返信 · 1 · 2015年11月9日 13:14

和久 尚史 氷柱なんかを水にいれてのもうとすると結構なものが浮いてます笑  
いいね! · 返信 · 2015年11月9日 15:04

平野 トシミ 結構なものって...。。  
いいね! · 返信 · 2015年11月9日 21:29

### ◀ Facebook フリツモグループページより抜粋 ※非公開ページにつき一般の閲覧は不可

ツモルはなしをしてみました。



雪

の民

青森人

人

# フリッツモ



あいだだいや



灰

の民

鹿児島人

人

空から降る「モノ」を取り巻く日常の風景。

電子書籍 KCIC アーティストシリーズ

アーティスト あいだだいや  
「フリッツモ」

出版記念トークイベント

2.13 (土) 14:00~

参加費  
無料



かごしま文化情報センター (KCIC)

TEL:099-248-8121 Email:information@kcic.jp

KCIC の電子書籍 KCIC BOOKS

<http://www.kcic.jp/BOOKS>

主催:文化薫地域の魅力づくり実行委員会、鹿児島市 企画:かごしま文化情報センター(KCIC)アートディビジョン 平成27年度 文化庁 文化芸術による地域活性化・国際発信推進事業

